

農の架け橋

発行：鹿行農林事務所 経営・普及部門

(銚田地域農業改良普及センター)

TEL:0291(33)6193

FAX:0291(33)6725

寒さが厳しくなってきました。
風邪を引かないよう、体調管理に気を付けましょう。



ピーマン栽培で天敵を有効活用しましょう！

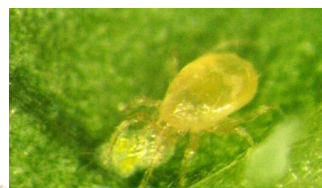
ピーマン栽培で、アザミウマ類などの害虫防除にカブリダニ類とタイリクヒメハナカメムシを利用する場合は、次の3点を意識し、天敵を有効活用しましょう。

1. 害虫がハウスに侵入しないようにする

天敵の捕食能力以上に害虫が増加すると、害虫の被害が抑えられなくなるため、ハウス周辺の除草や天窓および側窓への防虫ネットの設置をしっかりと行います。



立入禁止



カブリダニ類

2. 花を連続して咲かせる

カブリダニ類は花粉でも増殖し、タイリクヒメハナカメムシは花がないと逃亡しやすくなります。そこで、花を連続して咲かせるため、適期収穫による草勢の維持が重要となります。

3. 複数の天敵と防除資材・選択性農薬を組み合わせる

1種類の天敵では対応できる環境が限定されます。複数の天敵と粘着トラップ等の防除資材、天敵に影響の少ない選択性農薬組み合わせることで、様々な環境に対処しやすくなります。



タイリクヒメカメムシ

雑草イネの発生に気を付けましょう

ほ場に自生するイネが栽培品種に混じって生育し、その着色種子が収穫玄米に混入する被害が大きな問題となっています。赤米混入被害防止のために早期発見を心がけましょう。

雑草イネの主な特徴

- ・出穂2週間ほどで籾がこぼれ始める
- ・出穂期や草丈が栽培品種と違う
- ・籾の色が褐色～黒色
- ・籾の先端や芒が赤い

※上記の特徴に当てはまらず、判別が困難な個体もあります。

防除について

・非選択性除草剤の使用

収穫後のひこばえや代かき前の出芽個体への防除として行います。

・遅植え

雑草イネは4月中旬～5月下旬ごろに多くの種子が出芽します。出芽揃いを待ってから、非選択性除草剤の散布や複数回の代かきを行うことで防除効果が高まります。

・水稻除草剤の使用

栽培期間中は有効な除草剤による体系処理を行います。除草剤の有効な時期は雑草イネの発生前～発生始めまでなので散布時期に注意して下さい。

・手取り除草

ほ場内に残草がみられる場合に行います。雑草イネは出穂後2週間頃から脱粒するので、それまでに行ってください。



穂からこぼれ落ちた雑草イネ種子



雑草イネの穂。着色のないタイプ(右端)もある

出典 農研機構 2021. 雑草イネ・漏生イネ防除技術マニュアル

県オリジナル品種 イバラキング・いばらキッスを栽培しませんか？

メロン「イバラキング」の種子、イチゴ「いばらキッス」の親株購入の申込みを行っています。

生産・販売にあたっては、栽培マニュアルに準じて栽培することや、出荷資材に品種名を明記すること等が必要です。なお、「いばらキッス」の栽培については、JA部会または県いちご経営研究会に加盟することも条件となります。興味のある方は、普及センター担当者にお問い合わせください。

(メロン：三輪、イチゴ：假屋)

○イバラキング：肥大性は良く、上品な香りと甘さ等の食味が良い。

(注文×令和6年1月31日)

○いばらキッス：甘くてジューシーな味が特徴

(注文×令和6年1月31日)



アザミウマまん延防止のためのピーマンの古株枯死技術の実演会を開催しました

11月8日(水)、生産者、資材店、関係機関計81名参加のもと、アザミウマまん延防止を目的にしたキルパー液剤による古株枯死技術の実演会を開催しました。

栽培終了後に、ハウス内の植物を枯らさず生木で持ち出すと、ウイルスを保毒したアザミウマがハウス外に飛びだすことになり、地域全体へウイルス病拡大の危険性が高まります。

そこで、薬剤処理方法として、①処理設備(養液土耕システム・液肥混入機)と、②処理時期(夏期・冬期)について、それぞれの注意点を説明しながら実演処理を行いました。

キルパー液剤を利用した古株枯死に関心がある方は、銚田普及センターまで御連絡ください。



点滴チューブを利用した実演
(当日は水を使用)

鹿島地域女性農業士会が行方支部との合同研修会を実施しました

11月17日(金)、鹿島地域女性農業士会が鹿嶋市内の農業用ハウスで女性農業士会行方支部との合同研修会を開催しました。この合同研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により長らく実施できなかったため、久しぶりの開催となりました。

研修会では、鉢花を生産している小埜信子さんの農業経営を見学研修したのち、小埜さんの指導で「寄せ植え」を体験し、消費者交流の手法を学びました。

その後、会場を市内の公民館に移し、女性農業士OBから男女共同参画の重要性や取組についての情報提供を受け、地域農業のリーダーとしての認識を深めた様子でした。



銚田地域農業学園第5回講座を行方普及センターと合同で開催しました

11月13日(月)に銚田地域農業学園第5回講座を行方普及センターと合同で開催しました。今回はヤンマーアグリソリューションセンター関東とポケットファームときどきつくば牛久店の見学を行いました。

まず、ヤンマーで農作業時の安全研修を受け、安全フレームの展開とシートベルト着用の重要性を勉強しました。セルフメンテナンスとして、農業機械は走行距離でなく、作業時間を目安に点検を行うこと、オイル交換、ウォーターフィルターチェックなどの点検について学びました。

その後、ポケットファームときどきつくば牛久店にて、消費者に好まれる商品=需要のある商品や、直売所の陳列について見学をしました。

講座終了後、「メンテナンスは自分でも簡単にできそうだ」「丁寧なポップで購買意欲を高める工夫をしたい」等の感想があり、有意義な講座となりました。次回の農業学園は1月に銚田地域農村青少年プロジェクト実績発表会見学を予定しています。



銚田市4Hクラブが水戸市商工祭で消費者と交流!



11月19日(日)、銚田市4Hクラブが、リリーアリーナMITOで行われた第48回水戸市産業祭に出店し、クラブ員が栽培したイチゴやカンショなどを景品にした野菜のくじ引き販売を行いました。

クラブ員からは「自分たちで栽培した野菜の評判がよく、お客さんに喜んでもらえた。来年も参加したい。」「銚田市以外の消費者に対しても野菜のPRができてよかった。」との声が聞かれるなど、充実した活動となりました。

銚田市4Hクラブに興味がある方は、銚田普及センター(担当:永井)までご連絡ください。



サツマイモ基腐病に注意しましょう

収穫したイモは、見かけ上は健全でも貯蔵中に症状が現れることがあるので注意しましょう。

○貯蔵中のイモは、月に1回程度、異常がないか確認してください。

○貯蔵中に疑わしい症状のイモを見つけた場合、そのイモを貯蔵しているコンテナを隔離してください。

年間を通して感染・発病する機会があるため、日頃から本病の侵入防止と早期発見・早期対策に努めましょう。

疑わしい株を見つけた場合は、速やかに銚田普及センターまでご連絡ください。